

女性研究者次世代育成プロジェクト 第3回出前講座

～あなたの未来をデザインしてみましよう～

講師 永合 由美子 氏 東京大学 工学系研究科/工学部 広報室

平成25年11月18日(月) 15:45～17:45 高松市立高松第一高等学校ムジカホール 合計142名参加



講師 永合 由美子 氏

11月18日(月)高松第一高等学校ムジカホールにおいて、進路の選択の幅を広げ自身の可能性について考え、男女共同参画の観点から、将来の職場と家庭でのパートナーシップを考えてもらうことを目的に、リケジョを目指す生徒を対象に出前講座を開催しました。

今年で3回目となる今回は、講師に東京大学工学系研究科/工学部広報室の永合由美子氏をお招きしました。

永合先生からの大きなメッセージは「自信を持つこと」と「チャレンジしよう」。(財)日本青少年研究所の調査によると、日本の中高生は他国と比較して「自分が価値ある存在だと思っている」割合は8%で、低い傾向が明らかになりました。一人一人は大切な存在です。自信を持っていることは素敵なことと思っしてほしい、また、「失敗が人を育てる」のでいろいろなことにチャレンジしてほしいとエールが送られました。

そして、ご自身の会社経験から1番大事なのは「やりたいこと(価値観)」、「やりたいこと」を1番に考えてほしいとのアドバイスとともに“can” “will” “must”の交点で自分のやりたいことを見つけられるとHappyになる確率は高いことを示してくださいました。

リケジョは本人の意志を持って選び取って勉強している人たちなので就職しても即戦力として役に立ち、「希少価値が高い」、「素敵な人が多い」と企業評価が高く、今、企業のリケジョ争奪戦が繰り広げられていると、リケジョは就職においてもおススメと強調されました。さらに、会社では社内異動も多く、1つの会社でも色々な経験ができると、企業における研究者の魅力も語ってくださいました。

仕事、家庭、市民活動と年齢や場面で様々な役割を担いながらキャリアを形成し「広い視野で、多面的な生き方が魅力！」と話される永合先生のお話にたくさんの生徒たちが引き込まれていました。1つのところで人間関係がうまくいかなくても別の場所を持っていれば、そこで活躍できるし、キラキラ輝ける場所がある。リケジョの魅力だけにとどまらず、人生の指針となる助言を得ることができ、参加者が希望の持てる講演会となりました。

永合先生の講演の後、釜床美也子助教、大学院生の松尾朋子さん、石田茜さんによるご自身の研究内容の紹介、工学部 石井明教授による工学部の紹介がありました。参加した生徒からは、工学部と工学系進路について具体的に知ることができたと好評でした。



司会は長安コーディネーター



教頭先生よりご挨拶



石井教授による工学部の紹介



釜床助教による研究の紹介



講座終了後、熱心な生徒たちからの質問に答える講師の先生方



松尾朋子さんによる研究の紹介

●工学部は男のイメージがなくなって、今は女性のカも生きる時代だということがよくわかりました●身近な製品について説明してくださって、工学について理解が深まった●今までの理系に対する見方がとても変わった●理系を選択して良かったと思った●理系女子のすばらしさを感じられた●理系女子を目指したいと思いました●科学者を身近に感じる事ができた●女性が理系に進むことで、将来はいろいろとメリットがあることがわかってよかったです●将来について、しっかり考える機会が持てた●自分の夢に対して自信を持とうと思えた 【アンケートより】



石田茜さんによる研究の紹介